

会 議 録

1 会議名

平成27年度第9回春日区地域協議会

2 諮問事項

- ・上越総合福祉センターの廃止について（公開）

3 議題

- (1) 出前地域協議会の開催について（公開）
- (2) 平成28年度の地域活動支援事業の採択方針等の検討について（公開）
- (3) 地域活動支援事業募集説明会及び活動報告会の開催について（公開）

4 開催日時

平成28年1月13日（水）午後6時30分から午後8時45分まで

5 開催場所

春日謙信交流館 第1会議室

6 傍聴人の数

2人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯田功、池杉清子、大竹明德、長田久夫、竹内伊澄、田中実、中島富士一
南雲和子、橋本桂子、宮腰明浩、宮脇信行、山本紀昭（副会長）
吉田実（会長）、鷲澤和省、渡部正由（欠席1人）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、恩田係長、小林主事
- ・福祉課：牛木課長、南雲副課長、滝澤係長、佐藤主任

9 発言の内容（要旨）

【恩田係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出

席を確認、会議の成立を報告

【吉田会長】

・挨拶

【恩田係長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長に議長を委任

【吉田会長】

・会議録の確認：鷺澤委員に依頼

3 諮問事項「上越総合福祉センターの廃止について」福祉課に説明を求める。

【福祉課：牛木課長】

・挨拶

・資料No.1により説明

【吉田会長】

今の説明について質疑を求める。

【鷺澤委員】

指定管理者として上越市社会福祉協議会がこれまで運営してきた中で、行政としてこれは問題があると思ったことがあれば教えていただきたい。

また、全国様々なところで言われているが、民間に移行する場合に社会福祉サービスの低下が一般的に心配されている。行政の立場から懸念されることがあったら教えて欲しい。

3点目は、今まで行政が平均してどのくらい負担してきたのか、詳細でなくても結構なので教えて欲しい。

【福祉課：牛木課長】

1点目の、指定管理機関における問題点についてだが、社会福祉協議会は平成18年から10年間指定管理をしている。さらにデイサービスを含めた施設管理ということで、社会福祉協議会については開設当初から25年間運営管理をしていただいた。この間の問題点は、老朽化により施設設備関係に傷みが出てきており、毎年大規模な修繕を行ってきたため、修繕費が嵩んできた。社会福祉協議会の運営に関して問題点は特に感じていないが、日々環境は変化している。高齢者福祉を取り上げると、平成12年に介護保険制度が導入され、それまで行政が主体となって福祉サービスを展開してきたが、新たな制度により民

間の事業参入による高齢者施設や介護保険施設整備が相当進展してきた。社会福祉協議会もデイサービスや他の事業を行っているが、施設が古いことから、サービス向上のため色々なニーズに応えようとする時、あの施設の構造の中でやりくりすることに苦労しているのではないかと考えている。1階にはデイサービスの浴室もあるが、古くなってきているため、社会福祉協議会からは、今後デイサービス等のサービス向上のため、浴室等のリフォームをしたいという話を聞いている。競争が激しい中で、施設の使い勝手という点で思うように使えないということも問題点として上げられるのではないかと考えている。

3点目の費用負担についてだが、指定管理料として毎年540万円～600万円近い金額を市は支出している。平成24年度と平成25年度で542万2千円、平成26年度は591万6千円を払っている。また、平成26年度は空調設備の修繕費で700万円を払っている。平成27年度では空調設備の修繕で600万円弱、屋上の防水工事で1千万円掛かっている。費用負担についてはこのような状況になっている。

【鷺澤委員】

今後は社会福祉協議会が、色々な介護施設や社会福祉団体と競合する中で経営していかなくてはいけないということになるが、利用する人が気持ちよく使っていただけるような、社会福祉センターであってほしいと思ひ質問させてもらった。

【福祉課：牛木課長】

競争が激しくなっているので、サービスを向上して利用者を獲得しなければならない構図になるため、サービス低下は生じないのではないかと考えている。この施設は、デイサービスと色々なボランティア団体の活動拠点となっている。引き続き継続しながら色々な地域福祉事業をさらに上乘せしていきたいという社会福祉協議会の意向もある。社会福祉協議会は民間の福祉法人の1つではあるが、地域福祉法に基づくもので地域福祉の中核的役割を担っている。今後もしっかり連携していきたいと考えている。

【鷺澤委員】

今後サービスの低下がないようにチェックしていくということで理解してよいか。

【福祉課：牛木課長】

はい。

【鷺澤委員】

了解した。

【橋本委員】

障害者福祉事業に、いずれは使いたいという説明があったが、どのような事業なのかイメージを教えてもらいたい。

【福祉課：牛木課長】

これから詳細を検討して行くものと思うが、当面は不足している短期入所機能を加えることを検討していきたいということで聞いている。それを発端に違うサービスも考えていくことになると思う。

【橋本委員】

要望として、障害のある人も地域の中で暮らすという面で、なかなか触れ合う場がないため、こういう場を通じて障害者の方が地域の中で暮らしているという実感を持てるような事業が展開されることを期待する。

【福祉課：牛木課長】

障害福祉の関係は上越市としてはまだ不足している部分がある。社会福祉協議会に施設を譲渡するにあたっては、そういった地域に不足しているニーズの高いサービスに社会福祉協議会として取り組んで欲しいということで日頃から話をしているし、応援したいと思っている。

【宮腰委員】

障害のある人へのサービスで、福祉交流プラザで子どもの色々な活動がされているが、社会福祉協議会としてはそのような展開は考えられているか。

【福祉課：牛木課長】

社会福祉協議会との間で、障害のある児童への支援についての話は出ていない。市としては、発達障害のお子さんや、発達障害とまではいかないが行動が今ひとつ気になるお子さんが増えてきており課題としている。乳幼児から保育園、小学校、中学校、高校に至るまで、途切れのない支援体制や相談体制を確立しなければいけないということで、今後どういった体制が望ましいか、検討を重ねているところだ。

【長田委員】

築年数が平成3年で25年経過しているので、相当老朽化していると思う。参考資料に

「無償譲渡後に躯体に関わる修繕工事を実施する」とあるが、大分お金がかかるのか。

【福祉課：牛木課長】

外壁にかなりヒビが入っており、放置しておくと風雨にさらされて錆が進行してしまうので修繕がどうしても必要だ。譲渡後に社会福祉協議会が工事をし、市として補助をする方向で協議を進めている。

【長田委員】

その他に社会福祉協議会では内装工事を行うという話があったが、それは社会福祉協議会で行うということか。

【福祉課：牛木課長】

内装部分については自前でやってもらい、外壁部分を市で面倒をみることにしている。

【長田委員】

社会福祉協議会は平成23年～27年まで指定管理者として実績があるが、その前からやっているのか。

【福祉課：牛木課長】

平成18年度から5年で更新し、延べ10年である。

【長田委員】

平成24年から3年間の利用者数の実績値が出ているが、軽運動場が1番減っている。デイサービスの介護保険が300人減っていて、障害者はプラス500人。この実績を見るとこれからが大変なのではないかと思うが、その辺はどうか。

【福祉課：牛木課長】

当然、このまま何もしなければどんどん減少傾向に向かっていく。競争が激化しているので、そこを乗り越えて利用者を確保することが必要になる。社会福祉協議会としては、そういったことを見据えて利用者に向け、サービス向上をアピールできる形で取り組んでいきたいということで、施設を譲り受けて地域福祉の向上に向けて有効活用したいという意気込みを持っている。

【吉田会長】

今回の諮問について、どのように答申するか協議する。特に条件を付けずに「①適当と認める」か「②附帯意見を付した上で、適当と認める」か「③適当と認めない。又は継続

審議」のパターンがある。何か意見はあるか。

【鷺澤委員】

条件を付けたい。総合福祉センターのサービスの低下を招かないようにするために、行政が責任を持って対応していくという附帯意見をつけたい。

【福祉課：牛木課長】

色々な条件を付して譲渡することになっている。社会福祉協議会としても、身の丈にあった内装のリフォームを行う予定と理解している。高田にあるシルバープラザ内に社会福祉協議会のヘルパーステーションがあるが、その賃借料は相当な額となっている。ヘルパーステーションをこちらに移動して、効率化と経費の節減を図りながら、無理のないような形でサービスの向上を目指している。私どもも十分チェックをしていく。

【鷺澤委員】

サービスを低下させないように行政も関与していただければと思う。

【吉田会長】

それでは、附帯意見なしで適当と認めるということによいか。

(よいとの反応)

それでは、適当と認めると答申することとする。

— 福祉課退席 —

【吉田会長】

4 議題「(1)出前協議会の開催について」今迄の経緯について事務局に説明を求める。

【恩田係長】

昨年秋から出前地域協議会の開催できないかということで、春日野町内会、木田町内会、高士小学校区町内会を対象として、昨年中に実施することを目標に調整を重ねてきた。窓口になっていただいた春日地区町内会長協議会長とも10月中旬から12月中旬の間に5回ほどお会いして打合せを行い、町内会長の皆さんの集まる場で皆さんの意向を伺っていただいたと聞いている。調整結果としては、町内会長の皆さんから出前地域協議会を行うことについて、ご理解いただくことができず、昨年中の実施は見送らざるを得ない状況となった。12月17日には吉田会長、山本副会長、事務局で町内会長協議会長から今後の展開について話合う機会を設けた。地域協議会としても、今後のまちづくりを検討し

て行く上で、町内会との連携は必要と考えているほか、市としても委員改選の公募開始を控え、地域協議会の認知度を高めたいということで相談した結果。2月中旬以降に町内会長の皆さんと地域協議会の活動報告を兼ねた意見交換会を行って、双方の理解を深めながら前向きに話合う機会を設け、次期委員に繋げていくということで引き続き調整を進めている。

【吉田会長】

私たちの任期中に町内会長さんへ地域協議会の活動報告を兼ねた意見交換ができればということで調整を進めている。この状況に関して皆さんから意見を求める。

【宮腰委員】

各町内会の総会に合わせて地域協議会の報告をやればよいと思っていた。最低でも年1回、町内会の皆さんも活字を見れば、これは一体どういうことをやったのかという質問が出るかも知れない。ここにきてもう遅いと思うが、ある程度戦略を考えてはと思う。

【吉田会長】

町内の総会に出向くという意見がでた。今迄、竹内委員や橋本委員からも、テーマを設定してワールドカフェの手法を取り入れてやったらどうかという意見もいただいている。私たちの任期中には間に合わないかもしれないが、引き継ぎ事項として残せたらよいと思う。町内会長さんたちは忙しいので、今回は不調に終わる可能性もあるが、そのような方向で進めて行ってよいか。

【橋本委員】

地域協議会がいかに関内に浸透していないかという現状が分かった。その問題意識は会長や事務局にあったので、こういう方向性に転換したということが見えてきたが、前は突然変わったので、びっくりした。

いずれにしても、地域協議会について理解いただき、地域ある色々な組織の皆で協力していきたいという意識を共有できるようになることが大切だ。それは急いでできることではないので、第3期の委員に引き継いで町内会長の皆さんと関係改善を図っていくことが必要と思う。申し出てもなかなかよい反応がないことは残念だが、これが今迄の地域協議会と地域のあり方だったという反省も含めて、最後まで関係改善に取り組んでいくことは大事だと思う。ご理解をいただきながら進めていただけたらと思う。

【吉田会長】

今後実施したい町内単位などでチラシを配布してテーマ別で意見交換会したりするような活動を町内会長さんに説明してご理解いただきたいと思っている。また、協議会委員の改選について、今まで委員が出ていない町内もあるので、協力をお願いできたらと思う。方向性としては、これで進めてよいか。

（「はい」の声）

それでは、事務局が案として作ったものを見ていただく。当日配布資料について事務局に説明を求める。

【恩田係長】

当日配布資料により説明。

【吉田会長】

今の説明に質疑を求める。

【鷺澤委員】

4の(2)に「これまでの活動の内容や感想、次期委員に引き継ぎたいことを発表する」とあるが、これは委員から委員に引き継ぎたいことを、意見交換の場で話すということなのか。

【恩田係長】

例えば、地域活動支援事業の内容や感想をどなたかから発表いただくとする。平成28年度以降の審査等を発表される方がされるか、交代されるかは分かりませんが、これまでの経験を踏まえて、皆さんが考えることをお話しいただき、次期に引き継いでいただくというようなイメージをしている。

【竹内委員】

やはり色々な人との話合いのキャッチボールができる場にして欲しい。この案は基本的な会議の進め方なのだが、委員と町内会長さんが対峙するようなイメージになる。以前も話したが、グループに分かれてその中に私たちが入り、お茶を飲みながら話をする。そこで委員が活動支援事業の話をしたり、質問があれば答える。人と人との話し合いであることを理解し工夫して欲しい。構えずに話ができるようにしたらどうか。

【吉田会長】

途中からグループに分かれる形がとればよいと思う。

【橋本委員】

地域協議会の役割のひとつは、地域を元気にすることだと思うので、ダウンナーな感じになると勿体ない。来てくださった方が来て良かったと思えるような雰囲気作りのために、カフェ形式を勧めたい。私たちは地域の事を地域の人に教えていただかなくてはいけない。一緒に頑張るって良い地域づくりをしていきたいのでお願いしますという姿勢で、臨めば必ず心を柔らかくしてくださるのではないかと思っている。

【吉田会長】

グループトークをしたい気持ちも分らなくはない。意見交換のところでグループトークとできるか。

【恩田係長】

今回の主たる目的は地域協議会の活動報告であるので、(3)の場面でグループ討議とする構成としてはどうか。ほとんどの方が出席してくださった場合35人程度になる。総合体育館のミーティングスペースの面積を考えると2か3グループくらいでどうか。各グループには委員でファシリテートする方が必要になってくるので、正副会長は分かれていただく。活動報告の発表が話題提供になると思うので活動報告する方は分散していただく。可能な範囲で対応したい。

【吉田会長】

相手にも事前にそのような形で進めることを了解いただくことが必要だ。

【竹内委員】

中途半端なことはしないほうがよい。会場がなければこの日程では無理ではないか。

【吉田会長】

相手のあることなので、日程が変更となる可能性もある。

【恩田係長】

3月には活動支援事業の募集説明会もあるほか、町内会長さんの中には交代される方も出てくる。そこで先ずは2月のタイミングで行うことを勧めたい。カフェスタイルの意見交換会を実施しないということではなく。次のタイミングで企画いただきたいと思う。今回の対象は町内会長さんのみであり、形式ばった形の場としても萎縮することはなくご発

言いただけるものとする。

【吉田会長】

1 回目は報告会で協議会から情報提供をし、町内会長さんからも今の課題等を出してもらって、これからもよろしくお願いしますということでよいと思う。

【恩田係長】

会長からお話があったとおり、今回はあくまで次に繋げていくためのステップの1つである。町内会長さん方を飛び越して、いきなり地域住民の皆さんを対象にして地域協議会が意見交換会を実施することは望ましくないとする。竹内委員や橋本委員が仰るようなスタイルの話し合いは行わないということではない。行く行くそのような形で企画していただきたいとする。

【橋本委員】

こうやったらより良い形でできるのではないかと意見が出ている。条件が厳しいので仕方がないということは分かったが、せっかく良い意見を言っても、今回はこういふことでよろしくということであれば、最初から協議が必要ないのではないかと。

【吉田会長】

ご意見を否定しているわけではない。

【橋本委員】

次にそういうふうに進めていけばよいというような納得感がないといけないので、他の人の意見もお聞きしたい。

【池杉委員】

1 2月のフォーラムの時に講師の先生が4年間自分としては何をやりとげたかと言われたが、私自身は何もしていないと思った。地域協議会で勉強にはなったが、観光客がどうかという話は私の身の丈に合わないことであって、程遠い話のような感じがしていた。

私の町内の前期の町内会長さんは顔見知りだったので、色々なことを報告したり話ができた。町内会長さんが変わり、面識はあるけれど声をかけたこともなく、遠い存在になっている。このような機会を設けていただければ、自分の地域の顔見知りになれるし、話かけやすくなる。協議会委員として何かできる事があるかといったことに反映していくことができるかなと思っている。以前にも意見交換会を実施してはという話があったが、なか

なか実現しなかった。町内の総会に地域協議会委員として出席するなど、もう少し真剣にやるべきだったと反省している。

進め方の案については、(3)をもっと有意義になるように充実させて次に繋げていければと思う。

【大竹委員】

進め方の案についてはよいと思うが、町内会長は自分の町内のことだけしか考えていない。春日山の活性化のため色々なグループが活動されているので、町内会長だけでなく実際に活動されている方の声も聞くことも大切と思う。町内会長だけでなく実際に活動されている方も含めたほうがよいと思う。

【長田委員】

出前協議会の話は延び延びになってきた。竹内委員から話のあった実施方法もできないということだ。任期が終わりに近づいてきているのに、ここにきてやるのかと思う。効果はないと思う。

【大竹委員】

ここまで延びたのだから、新委員に変わってからでもよいと思う。

【長田委員】

辞めるのに、活動報告やるというのはどうかと思う。

【吉田会長】

今さらという意見もあるということは理解した。

【田中委員】

各町内会長さんと年に4回くらいはお話したいと常々思っていた。色々な話はあるが、1度は町内会長と顔を会わせて意見交換が必要だと思う。辞める方もいらっしゃるかもしれないが、これから引き続き続ける方もいらっしゃると思うので、ここら辺で一区切りで、報告をして少しでも各町内会長と顔を繋ごうとしていただければ、本当にありがたいと思う。

【中島委員】

町内会長との意見交換は賛成だが、果たして全員が参加できるのかが疑問だ。分割してやるのもひとつのやり方かとも思う。すると、全員の意見が一致しないというのも

困ると思う。できれば、大きい会場で全員が集まって、40人近くが全員同じ場で発言するのが良いと思う。その場ではなかなか交流できないかもしれないが、意見としては聴けると思う。

【南雲委員】

構成はよいが意見交換の時間が45分だと短すぎると思う。1人で45分くらい喋る町内会長さんがたくさんいると思うので、45分間は短すぎると感じた。私は早く任期が終わらないかなと正直思っているが、町内会長さんと繋がっていくというのも総括的な意味で大切と思う。

【宮腰委員】

私はこの案のとおりでよいと思う。田中委員の言うように、町内会長さんは地域協議会を認知していない状況があるので、1度はやっておかないといけないと思う。新委員がやればよいという話もあったが、それは新委員が考えればよいことだ。また続ける委員もいると思うので、次は早目にやればよいという話に繋がればと思う。今回はこの案で問題ない。

【宮脇委員】

協議会を見てもまとまりがつかない、皆さんで色々な意見を言っている。何が悪いかと言えば皆さんは4年間やってきて、あと2か月か3か月で終わりなのに、今さら何だという気持ちが強いと思う。もし任期がもう2年あれば別だ。2年前の私は地域協議会への熱意も違うし燃えていたので意見も言ったが、あと3か月で今さら町内会長さんと意見交換して何になるのか。次期委員に引き継ぎたいこととあるが、こんな事をやり残したと喋れば、そしたらお前もう1回やればよいということになる。

【鷺澤委員】

時間的なことを考えると、町内会長に理解してもらい、我々も地域の課題を理解することはなかなかできないと思う。地域協議会のことを分かっていない町内会長や住民が大半だと思う。町内会長会議で謙信公祭や春日山整備など、様々なことを検討してきた。地域協議会と、今迄やってきた町内会長会は重なるような状況ではないかということ色んな人から聞く。町内会長会の役割が大きかったので、町内会長会のやってきたことに地域協議会は介入してくるのではないかと、さらにあれをやれこれをやれとなって負担が増加する

のではないかというような話があって、地域協議会を理解している人は少ないと思っている。

町内会長と顔見知りになって、お互いに意見を言えるような状況をつくる必要があると思う。今回は人間関係の第一歩に踏み出すということで、地域協議会でやっていることを理解いただいて、あまり欲張らないで、人間関係を作っていただけたら、次期へも繋がると思う。

【渡部委員】

各地域に宝の山、素晴らしい人材がいると思うので、町内会長を含めた気軽な話合いを行うことが大事と思う。地域によって要求も違うと思うので、自由に意見を述べていただいて宝の話が出てくる方向で地域協議会が中心になっていったらよいと思う。

【吉田会長】

基本的にはこの進め方でよいか。

【渡部委員】

そのとおりだ。

【飯田委員】

地域協議会委員を受けるにあたって、地域協議会委員とは何か全く知らなかった。頼まれて、地域活動をやらなければいけないかなと思って引き受けた。中に入ってヤレヤレと思う事があつたし、志を持って4年間やってきたわけではない。一生懸命やらなかったわけではないが、何を成したかということ自信を持って発表できるものがあれば言えるが、そういうものもない。来年町内の役員を仰せつかったので、2月頃から忙しくなるので回避していただきたい。

【吉田会長】

やり方としてはどうか。

【飯田委員】

ざっくりばらんな意見交換の方がよいのではないかな。

【山本副会長】

今回は町内会長が何人か代わられる。町内会長会の代表会長が誰になるかは18日の新年総会の中で決まる。我々も町内会長の仕事を理解しなくてはいけない立場にあると思う

ので、そういう面で意見交換を行って、是非次に繋げればよいと思う。日程的にできない可能性もあるが、4年間の締めくくりとして大事なことである。先程飯田委員が役員になるのでこの活動はできないと仰ったが、是非役員になった方こそ、こういう活動に参加してもらいたいとお願いしたい。

【吉田会長】

町内会長さんが大分代わられるようなので、新しい町内会長さんにはなおさら情報提供していききたい。春日区地域協議会委員に現職の町内会長がいないことが、摩擦を招いた原因になったかもしれない。そういった意味も含めこういう場を設けたいということだ。

今日、皆さんの意見はお聞きしたので、それを盛り込んでいくということでよいか。

(「はい」の声)

次に、日程だが調整ということになるか。

【恩田係長】

2月17日か24日の開催で調整を進める予定としている。

【吉田会長】

発表者はどうするか。

【恩田係長】

後日正副会長と事務局で相談し、皆さんにお願いすることになるので、あらかじめご了承ください。

【吉田会長】

「(2)平成28年度の地域活動支援事業の採択方針等の検討について」事務局に説明を求める。

【恩田係長】

資料No.2により説明。

【吉田会長】

一括で見直しの可否を協議していく、皆さんから発言願う。

【宮腰委員】

過去の支援事業で、バレーボールなどがあるが、スポーツの振興という項目がない。それでも採択したのだからよいとするのか、次期委員に提起をしないかどうかが気になった。

次期委員のために採択方針に入れたほうが親切だと思う。

【恩田係長】

宮腰委員はどのような表現で加えられたいのか教えていただきたい。

【宮腰委員】

具体的には考えていない。言葉が入っていないので次期委員が分かりやすいように入れたいと思った。

【恩田係長】

文章表現については、正副会長と事務局に一任いただくことでよいか。

【宮腰委員】

それでよい。スポーツだけでなく文化や芸術振興もある。

【吉田会長】

それでは、募集期間を決める。意見を求める。

【大竹委員】

市議員選挙があるが、関係ないか。

【恩田係長】

4月24日を投票予定日としている。25日以降を締め切り日にしてはどうか。

【吉田会長】

案として、①4月1日～30日、②4月1日～5月9日にするか。

【宮脇委員】

これを我々が決めたら、次期委員に文句を言われませんか。

【吉田会長】

そこは気にしなくてよいと思う。改選期の活動支援事業の審査は新委員の就任後になるので、採択決定が多少遅くなるのはやむを得ない。

【鷺澤委員】

4月28日までとしてはどうか。

【吉田会長】

募集期間は4月1日～28日までとしてよいか。

(「はい」の声)

「(3)地域活動支援事業募集説明会及び活動報告会の開催について」事務局に説明を求める。

【恩田係長】

資料No.3により説明。

【吉田会長】

昨年と内容が違う点は、事例発表をなしにしている。昨年は春日山城跡保存整備促進協議会から事例発表をしていただいた。

【橋本委員】

なくしたのには理由があるのか。

【恩田係長】

今年は地域協議会の活動報告と公募手続の説明に時間を割きたいということ。これまでも委員の方だけでなく、参加された方からも質問や回答の時間をもっと設けて欲しいという要望があったことから、このような構成案とさせていただいた。

【南雲委員】

一昨年の春日山町3丁目の発表が印象深かった。あのような事例発表ならあってもよいかと思う。

【橋本委員】

応募のコツや、どのような視点で価値や意義を認めてもらえたのかということを発表してもらえるとよいと思う。地域協議会の活動はこういう意味のあることをやっているのだということが、ダイレクトに伝わると思うので、時間はタイトになるかもしれないが、ご協力いただければよいと思う。

【竹内委員】

発表ではなくても、パネルのように写真などを掲示したらどうか。

【恩田係長】

過去の採択事業等は一覧表を配布して事務局から説明することを考えている。活動報告については課題としてあげられている地域協議会の認知度を向上させ、市民の方の関心を高めたいという趣旨で市としても実施したいことから縮小させることは現時点で考えていない。

【池杉委員】

新たに採択された事業の実施団体から発表いただくとよい。生の声を聞きたい。

【鷺澤委員】

地域活動支援事業を皆さんに理解してもらって、地域を活性化するためには、具体的にやった人から、1つでもよいので事例を発表していただいたほうがよいと思う。成果のあったことや、問題点などを話していただくほうが、説得力と生きた支援事業になると思うので、やっていただきたい。

【吉田会長】

発表団体については相手の都合もあることから、正副会長と事務局に一任いただく。

- ・ 次回の協議会：後日調整
- ・ 会議の閉会を宣言

1 0 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

1 1 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。